

6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
環境生活部長 (田畑吉隆)	公共施設の電気使用量において、松阪新電力への切り替えを促すとともに、まつさかEMSの取組を通じて省エネルギーの推進を図りました。 ▲ <令和3年度 実行宣言> 2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー起源CO2の排出量を削減できるよう省エネルギー・エネルギー効率の向上をめざします。	
	令和4年度 実行宣言	
	2050年カーボンニュートラル実現に向け、まずは2030年温室効果ガス46%削減を目指した基本方針を示すとともに、地域脱炭素ロードマップに示された重点施策である、公共施設の自家消費型の屋根置き太陽光発電設備設置に向けた取組を行い、再生可能エネルギーの導入の推進を図ります。	

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆
上下水道事業 管理者 (長谷川浩司)	農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業とともに、ロードマップに基づき法適化移行業務（固定資産調査・評価、事務手続き、システム化検討）を進めました。 ▲ <令和3年度 実行宣言> 公共浄化槽・農業集落排水事業について企業会計化に向けて作業を進めます。	
	令和4年度 実行宣言	
	令和3年度に引き続き、農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業について、令和5年度の企業会計化に向けて作業を進めていきます。	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長	指標名	1人1日当たりエネルギー消費量（電気）を4年間、基準値以下に維持する。				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	7.25kwh以下	7.25kwh以下	7.25kwh以下	7.25kwh以下	
	実績	7.17kwh	7.43 kwh	未公表	—	—	
	評価	—	E	—	—	—	
	今後の方針	2050年カーボンニュートラル実現にむけ、更なる省エネ、節電に対する啓発活動を実施します。					
数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長・上 下水道事 業管理者	指標名	生活排水処理施設整備率				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	89.1 %	90.4 %	91.7 %	93.0 %	
	実績	88.7 %	91.1 %	91.7 %	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	(環境生活部長) 単独処理浄化槽及び汲取りから合併浄化槽への転換など、家庭における生活排水に対する意識向上の啓発を行っていきます。 (上下水道事業管理者) 引き続き、浄化槽設置補助金制度の活用により、生活排水処理施設の向上に努めていきます。					

関係所属
環境課・上下水道部

6. 快適な生活 ②資源循環型社会の推進

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
清掃行政担当 理事 (谷口昌由)	家庭から出るゴミを安全・迅速に、かつ衛生的に回収し各施設で適切な処理をすることが出来ました。特に充電式電池の発火対策に取り組み、新しい回収システムの構築とクリーンセンターで処理施設投入前の排除に努めました。また、長期的（45年間）に使用する新最終処分場の整備を進めました。 ごみ減量・3Rについては松阪新電力の協賛による雑紙回収袋や水切り袋の配布等による啓発を行いました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座等が一部縮小となりました。	
		
	<令和3年度 実行宣言> ・ごみ収集作業の円滑化を図り、ごみの散乱防止及び地区の美観、衛生面の向上を図るために、自治会等が設置するごみ及び資源物集積所に対して支援を行います。 ・市民一人ひとりに3R活動の推進及び更なる分別の徹底とごみ減量に対する意識の高揚を図り、特に家庭系ごみの減量をめざします。 ・各施設で安全な維持管理・運営を行い、効率的で安定したごみ処理により、地域の生活環境の保全と公衆衛生の向上をめざします。	
	令和4年度 実行宣言 家庭から出るゴミを安全・迅速に、かつ衛生的に回収し各施設で適切な処理をいたします。また、市民ニーズを意識してごみ処理の効率化や新しいサービスを検討します。ごみ減量・3R等の啓発については、新型コロナウイルス感染症を意識した効率的な出前講座等に取り組んで参ります。新最終処分場については引き続き整備を進めてまいります。	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 清掃行政 担当理事	項目	家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量				目標種別	↘
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	710 g	701 g	693 g	684 g	
	実績	719 g	734 g	718 g	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
今後の方針	家庭系ごみの削減のための啓発を継続してまいります。						
数値目標 ② 【評価】 清掃行政 担当理事	指標名	廃棄物(ごみ)対策の整備に満足している人の割合				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	25.0 %	26.0 %	27.0 %	28.0 %	
	実績	22.7 %	— %	22.8 %	—	—	
	評価	—	—	E	—	—	
今後の方針	市民ニーズを意識してごみ処理の効率化や新しいサービスを検討します。						
数値目標 ③ 【評価】 清掃行政 担当理事	指標名	資源化率(総ごみ量のうち総資源化量の占める割合)				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	10.7 %	11.5 %	12.3 %	13.1 %	
	実績	10.7 %	10.5 %	10.1 %	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
今後の方針	分別を推進し資源回収するための啓発を継続してまいります。						

関係所属	
清掃事業課・清掃施設課・建設保全課	

6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
産業文化部長 (川村浩穂)	<p>超高齢社会交通弱者対策調査検討事業の一環として飯高管内の公共交通機関の再編、地域公共交通計画の策定に向けた調査、検討に着手し、移動手段に関する市民アンケートを実施するなど、移動現況や課題、ニーズを調査してきましたが、活動指標である「飯高管内の移動手段再編進捗率」は目標値の50%に留まっています。これは再編に向けた現状の課題把握、整理をするため交通弱者の声を直接お聞きするワークショップを新型コロナウイルスの感染拡大のため開催することができず、令和4年度に延期したことが大きく影響しています。</p> <p>また「住民1人あたり公共交通機関年間利用回数」ならびに「住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域」もそれぞれ目標に達していません。これらは新型コロナウイルス感染拡大を受け、不要不急の外出控えや、web会議など新しい生活様式の浸透により、出かける方が減少したことによるものと考えます。「鉄道、路線バスとコミュニティバスの結節点数」はすでに令和4年度の目標に達しておりS評価ですが、前年と同数であることから飯高管内での公共交通の再編の進捗率を含めた施策の進捗状況を鑑み、全体としては星2つの評価としました。</p>	
		
	<p><令和3年度 実行宣言> 交通弱者の移動手段の確保に向け取り組みます！</p>	
	<p>令和4年度 実行宣言 地域住民との対話を重視し飯高管内の公共交通の再編を円滑に進めることで、超高齢社会における交通弱者のニーズに対応したコミュニティ交通のあり方を見据えた「松阪市地域公共交通計画」の策定に取り組みます。</p>	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 産業文化 部長	項目	鉄道、路線バスとコミュニティバスの結節点数				目標種別	↑
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	22 か所	23 か所	24 か所	25 か所	
	実績	21 か所	24 か所	24 か所	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	路線バスとコミュニティ交通の連結を前提に飯高管内の公共交通の再編に取り組みます。						
数値目標 ② 【評価】 産業文化 部長	項目	住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域				目標種別	↑
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2 地域	2 地域	2 地域	3 地域	
	実績	1 地域	1 地域	1 地域	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
今後の方針	路線バス等が運行されていない地域で、地域住民が主体となって運営するコミュニティ交通を引き続き支援していきます。						
数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長	項目	住民1人あたり公共交通機関年間利用回数				目標種別	↑
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	8.00 回	8.00 回	8.00 回	8.00 回	
	実績	7.95 回	6.23 回	6.56 回	—	—	
	評価	—	E	E	—	—	
今後の方針	公共交通に慣れ親しんでもらい、利用しようとする意識を育むために、こどもたちがバスに乗車する機会の提供などの利用促進に取り組みます。						

関係所属
商工政策課

6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
建設部長 (伊藤篤)	<p>都市空間の整備として公園整備は、都市計画区域内人口一人当たりの公園面積を目標の全国平均以上となるよう、松阪市総合運動公園の整備により市民の憩いの場の創出に努め目標を達成しましたが、その成果はすぐには表れず、公園緑地の整備に対する市民満足度は横ばいの状態です。一方、快適な都市空間の創出に向けた取り組みは、松阪駅西地区複合施設事業者募集支援業務委託に着手するとともに、違反屋外広告物の除却や景観重点地区中万地区の指定など、美しい景観のまちづくりを進めました。</p> <p>住環境の整備は、住めない空家と判定した空家については、建物所有者に不良空家除却補助金の活用や適正管理の依頼などで、H30年度実態調査した住めない空家と判定した空家の減少を図りつつ、市営住宅については、今後の市営住宅のあり方に沿って、老朽化住宅からの住み替えを進めましたが、住環境に対する市民満足度の向上は図れず横ばいの状態です。</p>	
		
	<p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりと市民の健康管理や憩いの場の整備を進めます ・今後の市営住宅のあり方に関する意見書に沿った業務を進めます ・快適な都市空間と美しい景観のまちづくりを進めます ・適正かつ円滑な建築・開発行政、狭あい道路・空家等の対策を行います 	
	<p>令和4年度 実行宣言</p> <p>都市空間の整備は、松阪駅西複合施設建設に向けた事業者ヒアリングから1次事業者募集へと進め、松阪駅西地区構想の推進します。公園緑地の整備については、中部台運動公園、松ヶ崎公園など他部局管理の都市公園についても、土木課管理の都市公園として、芝生やグラウンドなど屋外施設の一括管理する方法を関係課と調整し、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>住環境の整備は、危険な特定空家化の減少、中心市街地の空家の利活用の充実、近鉄伊勢中川駅近郊における一般住宅建築可能な区域の創出により、市民満足度の向上に努めます。</p>	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 建設部長	指標名	住環境の整備に対する市民満足度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3.20 /5	3.24 /5	3.27 /5	3.30 /5	
	実績	3.17 /5	— /5	3.17 /5	—	—	
	評価	—	—	E	—	—	
今後の方針		良好な景観形成を推進し、空家対策の充実を図ります。					
数値目標 ② 【評価】 建設部長	指標名	公園・緑地の整備に対する市民満足度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3.12 /5	3.15 /5	3.18 /5	3.20 /5	
	実績	3.10 /5	— /5	3.12 /5	—	—	
	評価	—	—	D	—	—	
今後の方針		地域住民のニーズを的確に捉え、樹木管理や遊具の老朽化対策を計画的に進めます。					
数値目標 ③ 【評価】 建設部長	指標名	「住めない空家（C判定）※」として判定された空家等数（累計） ※H30年実施 空家等実態調査における判定基準				目標種別	↘
	年度	平成30年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	720 件	700 件	680 件	660 件	
	実績	758 件	668 件	611 件	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針		空家の現況を把握し、第2次空家対策計画を策定します。また、特定空家の指定を進め、危険な特定空家については、解体除却の代執行を検討します。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ④	指標名	老朽化住宅からの住替え件数（累計）				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
【評価】 建設部長	目標	—	50 戸	58 戸	70 戸	83 戸	
	実績	39 戸	58 戸	67 戸	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	引き続き、入居者ニーズに即した住替え先の提案など、親身な交渉を行いながら、計画的な住み替えを進めます。					
関係所属							
建設総務課・土木課・住宅課・都市計画課・建築開発課							

6. 快適な生活 ⑤道路等の整備

部局長名	令和3年度の評価	☆☆☆☆
建設部長 (伊藤篤)	道路等の整備として、地域要望に基づいた道路幅幅や交差点改良など道路整備を進めました。また橋梁の長寿命化事業では、市職員による直営点検により、点検経費を削減し効率化を図りました。	
	↑	
	＜令和3年度 実行宣言＞ 安全で快適な生活空間の維持管理に努めます	
	令和4年度 実行宣言 橋りょう点検は、引き続き直営点検により効率化を図るとともに、道路改良事業の用地交渉が難航している事業地区については、粘り強く交渉を行い土地所有者の理解を求め、計画どおりの事業完了に努めます。	

施策の進捗状況							
数値目標 ① 【評価】 建設部長	指標名	主要な認定市道のパトロールに基づいた路面補修率				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	100%	100%	100%	100%	
	実績	—	100%	100%	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	引き続き、直営の巡回パトロールにより迅速な路面補修に努めます。						
数値目標 ② 【評価】 建設部長	指標名	道路の整備に対する市民満足度				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.78 /5	2.82 /5	2.86 /5	2.90 /5	
	実績	2.74 /5	— /5	2.81 /5	—	—	
	評価	—	—	B	—	—	
今後の方針	優先順位の高い路線から工事着手し早期完成に努めます。						
数値目標 ③ 【評価】 建設部長	指標名	橋りょう点検に基づき修繕を行う橋りょう数(累計)				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	28 橋	48 橋	73 橋	98 橋	
	実績	10 橋	23 橋	49 橋	—	—	
	評価	—	B	S	—	—	
今後の方針	早期に修繕が必要な98橋については、予防保全による対策を進め長寿命化を図ります。						

関係所属	
建設総務課・土木課・建設保全課・建築開発課	

6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備

部局長名	令和3年度の評価	☆☆
上下水道事業 管理者 (長谷川浩司)	<p>水道事業については、経常収支比率（109.3%）、営業収支比率（104.7%）でともに100%以上、料金収納率においても99.7%（3月末時点）となり、高水準の料金収納率を維持できる見込みであります。嬉野管内水道統合ポンプ場増設工事は、地元との調整に時間を要し計画通り進みませんでした。基幹管路の耐震化については平成2年度末の耐震適合率37.6%を令和3年度末では0.3ポイント増の37.9%、60mの整備目標であった老朽管の更新については65mの整備を行い、安心・安全で良質な水の供給に努めました。</p> <p>公共下水道の整備については繰越工事が多く発生し目標とする下水道普及率62.5%を2.0ポイント下回る60.5%となりましたが、整備面積の拡大により収入増を図りました。</p>	
		
	<p>＜令和3年度 実行宣言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。 ・基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。 ・嬉野管内水道統合ポンプ場の用地取得、用地測量を実施し進めます。 	
	<p>令和4年度 実行宣言</p> <p>令和4年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。</p> <p>水道事業建設改良工事では、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新します。</p> <p>下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか大型団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていきます。</p>	

施策の進捗状況							
数値目標① 【評価】 上下水道事業 管理者	項目名	水源の水質事故件数				目標種別	→
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	0件	0件	0件	0件	
	実績	0件	0件	0件	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	引き続き、水質事故件数0件に努めます。						
数値目標② 【評価】 上下水道事業 管理者	項目名	基幹管路の耐震適合率				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	37.5 %	37.9 %	38.1 %	38.2 %	
	実績	37.2 %	37.6 %	37.9 %	—	—	
	評価	—	S	S	—	—	
今後の方針	引き続き、「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。						
数値目標③ 【評価】 上下水道事業 管理者	指標名	下水道普及率				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	60.8 %	62.5 %	63.2 %	67.1 %	
	実績	58.2 %	59.1 %	60.4 %	—	—	
	評価	—	D	C	—	—	
今後の方針	引き続き、整備計画に基づき、管渠整備を進めていきます。						
数値目標④ 【評価】 上下水道事業 管理者	指標名	水洗化率				目標種別	↗
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	79.5 %	80.1 %	80.7 %	81.1 %	
	実績	79.4 %	79.6 %	79.5 %	—	—	
	評価	—	S	E	—	—	
今後の方針	引き続き、水洗化啓発や水洗化補助金等の制度の活用により、水洗化率の向上に努めていきます。						

関係所属	
環境課・上下水道部	